



箭山

夢実現
自ら学び
仲間と共に
未来を拓く生徒の育成

三光中通信
第5号
令和7年6月24日（火）
校長 今長 博文

「命を守る行動」について考えよう

毎年、梅雨時期になると、大雨による災害や水の事故のニュースが入ってきます。今月11日には三光地区にも避難所が開設され、翌日が臨時休校となりました。また、18日には、兵庫県姫路市で中学校2年生が川で遊んでいて深みにはまり、亡くなるという事故がありました。毎年繰り返される事故に対して、今一度、「命を守る行動」とはどんなことを真剣に考えてもらいたと思います。私は過去に中津市であった事故についても、みなさんに伝えておきたいと思い、毎年、学校通信に載せています。以下に紹介する事故について、自分事としてとらえ、考え、行動してもらいたと思います。

* 2014年7月28日～山国川で中学2年男子生徒が溺れ、近くにいた人に救助されたが、意識不明。

ドクターヘリで運ばれ、数週間の治療を経て一命を取り留めた。

* 2004年7月18日～山国川で小学校4年生が流され、40分後に発見されたが亡くなった。

* 2002年6月22日～中津田尻港で中学3年生が堤防から転落し、レスキュー隊が出動して引き上げるも病院で亡くなった。

水難事故だけでなく、自転車事故で中津市の中学生が亡くなる事故も過去にありました。

* 2004年7月17日～八面山の下り坂で自転車を二人乗りしていた中学2年女子生徒が転倒し、後部に乗っていた生徒が頭部を打って亡くなった。ヘルメットはしていなかった。

どの事故も一人ではなく、仲間ともに遊んでいて起きています。仲間がいると開放的な気持ちになり、「これくらいは大丈夫だろう」という油断が生まれてしまいがちです。一瞬の油断でたった一つの大事な命を亡くしてしまいます。仲の良い友だちが帰らぬ人となってしまふ。胸が引き裂かれるほど悲しいことです。「命の大切さ」「自然の怖さ」を自分のこととして真剣に受け止め、考えて行動してください。日差しが強く、気温が上がっています。涼を求めて川に近づくことがあるかもしれません。しかし、遊泳禁止の看板がなくても、川での水遊びや泳ぎは危険です。絶対にやめましょう。災害時だけでなく、日常の生活の中でも「命を守る行動を」ということを意識して、過ごしてほしいと願っています。



朝食をしっかりととり、熱中症を防ごう！

先月の生徒アンケートではほとんどの生徒が朝食を食べていると答えていましたが、食べていないという生徒も3%ほどいました。人間が一日に必要な水分の半分は食事からとっているそうです。朝食を食べないと脱水状態で勉強や運動のパフォーマンスが下がり、熱中症の危険性が高まります。睡眠中にかいた汗はおよそコップ1杯分です。朝食を「命を守る行動」の一つとしてしっかり取りましょう。

